

セミナー開催
平成 28 年
5/16 月

公共交通不便地域で『くらしの足』を地域自ら確保する方法



名古屋大学東山キャンパス ES 総合館 1 階 ES ホール

(地下鉄名城線名古屋大学駅徒歩 3 分)

※自家用車での来場はできません。

セミナー内容

午前の部 (10:00 ~ 12:30)

新しく公共交通担当になった自治体職員の方、地域公共交通会議委員の方、その他、初心者の方向けです

● **中部地域における地域公共交通の状況説明**
▶ 国土交通省中部運輸局

● **【特別講義】地域公共交通政策の考え方・進め方入門**
▶ 加藤 博和：名古屋大学大学院環境学研究科准教授

● **【情報提供】臨床環境学およびコンサルティングファームの紹介**
▶ 名古屋大学持続的共発展教育研究センター

午後の部 (14:00 ~ 17:00)

どうすれば公共交通が便利にできるか知りたい、具体的に動き出したいと思っている皆様向けです

● **【講演】「くらしの足」をあきらめないで!自分たちで「つくり」「守り」「育てる」方法があります!**
▶ 加藤 博和：名古屋大学大学院環境学研究科准教授

● **【事例紹介】市町村有償運送、公共交通空白地有償運送、オンデマンド交通等に関する取組紹介**
・名張市美旗地区、蒲都市形原地区、岐阜県西濃地域 (名阪近鉄バス)、徳島県つるぎ町、神戸市淡河ゾーンバス

【作戦会議】

・他地域で活動している方や講演者も加わり「地域から公共交通を変えるための方法論」をアツク語り合う
▶ コーディネータ
福本雅之：(公財)豊田都市交通研究所主任研究員

※終了後、懇親会を予定 (実費)

高齢化の急速な進展などに伴い、

自家用車に頼らない「くらしの足」確保が

重要となっている中、コミュニティバスやオンデマンド交通

等の導入に加え、近年ではいわゆる「自家用車ライドシェア」や自動運転技術の実証実験といった動きが出てきていますが、課題が山積しています。一方、現状の法制度や技術の枠内で、地域が持つ力をうまく生かした地道でかつ安全安心な「くらしの足」を確保するための取組ははまだ局所的なものにとどまっています。

そこで、特に「公共交通空白地有償運送制度の活用」と「既存バス・タクシー事業の活性化・再生」に重点を置き、地域の関係者が意識を共有し、自らのくらしの足を自ら確保するための具体策について、現場での実践に生かすきっかけをつかむことを目的として開催します。



日時：平成 28 年 5 月 16 日 (月) 10:00~17:00

場所：名古屋大学東山キャンパス ES 総合館 1 階
ES ホール (〒464-8603 名古屋市千種区不老町)

参加費：無料 (どなたでも参加自由) 定員：200 名

主催：名古屋大学大学院 環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター

共催：国土交通省中部運輸局

後援：くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会 / (公財) 交通エコロジー・モビリティ財団 / (一財) 地域公共交通総合研究所 / (公財) 豊田都市交通研究所 / (公社) 日本バス協会 / (一社) 全国ハイヤー・タクシー連合会 / (特非) 全国移動サービスネットワーク / 日本私鉄労働組合総連合会 / 全国交通運輸労働組合連合会 / (公社) 愛知県バス協会 / 愛知県タクシー協会 / 名古屋タクシー協会 / (特非) 移動ネットあいち

●申し込み URL ▶▶▶ <http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/kato/seminar.htm>

※e-mail をお使いの方は必ずそちらで、氏名・所属・住所・連絡先 TEL を記載し申し込み願います。

●e-mail をお持ちでない方は FAX での申し込みが可能です。

※FAX 番号 ▶▶▶ 052-789-1454 (名古屋大学環境学研究科地域戦略研究室)

【氏名】

【連絡先】TEL :

【所属】(団体・会社・個人)

【住所】〒

【参加希望に○】 午前の部 ・ 午後の部 ・ 懇親会